

No.25 柳 健司 —無題—

Kenji Yanagi

北川フラムさんのコラム / 立川市市報記事より

建物と建物の境界はやっかいだ。暗い穴倉や汚い路地になってしまう。これが古い建物と新しい建物になると事はもっと複雑になる。

柳健司はこれらをもの見事に解決してしまった。道路に面した2か所にゲートのような真っ赤な門をたて、建物に沿って赤い四角のパイプをめぐらしてしまった。その上、内部の壁裏にネオンを埋め込み、幻想的な空間を作った。題して笠木。笠木は収穫した稲を懸ける農村の田園風景でもある。

柳健司は独特の発想で、スッキリした空間概念を提出する作家である。その仕事はいつも明解で気持ちがよい。